

第 15 回 ミナミ 活性化協議会 代表者会議 結果

1 日時

令和 2 年 2 月 9 日（日）午後 2 時から

2 場所

大阪市中央区東心斎橋 1 丁目 7 番 12 号
オ・セイリュウ 地下 2 階

3 出席者（敬称略）

役 職	氏 名
大阪府知事	吉村 洋文
大阪市長	松井 一郎
大阪府警察本部長	藤本 隆史
ミナミ 歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ 歓楽街環境浄化推進協議会 発起人	福長 徳治
大阪商工会議所副会頭	立野 純三
関西経済同友会代表幹事	深野 弘行

4 意見交換

○ ミナミ 歓楽街環境浄化推進協議会会長

このミナミ活性化協議会代表者会議は、平成 17 年の第 1 回目の会議開催以来、今回で 15 回目となります。協議会設立当時のミナミでは、黒服を着た「カラス族」と呼ばれる風俗店の客引きが横行し、違法風俗店や無料風俗案内所の乱立、放置自転車やはみ出し看板など、様々な問題を抱えていました。

そのような中、「風情あるミナミの街を取り戻したい」「ミナミの街を自分たちの手で良くしていこう」という地元の熱い思いから、平成 17 年 2 月に地元商店会や地域振興会などで構成する「ミナミ 歓楽街環境浄化推進協議会」を設立しました。また、同年 9 月には、ミナミの環境浄化・活性化のために官民一体となったオール大阪体制による「ミナミ活性化協議会」を設立し、現在に至っております。

それ以来、我々地元では『みんなでつくろう ええ街ミナミ』をスローガンに掲げ、行政・警察・経済界の皆様と連携して、夜間の合同パトロールやはみ出し看板等の解消に向けた自主規制を行ってきたほか「地域のルールづくり」にも取り組んできました。平成 22 年には、建築物の用途を制限した宗右衛門町地区地区計画条

例の制定、その後、宗右衛門町通りの無電柱化と石畳化が完成しました。平成 25 年には心齋橋筋商店街において景観協定、平成 28 年には戎橋筋商店街における建築協定が締結されるなど、地元としても建物の用途について自ら制限をかけるとともに、ミナミのブランド力向上と賑わいある健全な街づくりに向けて取り組んできました。関係団体の皆様におかれましても、環境浄化とにぎわい創出に向けて、様々な対策に取り組んでいただきました。現在、なんば駅前の広場化や御堂筋などの空間再編といった歩行者を優先とした都市空間整備が行われるなど活性化を進めていただき、地元としては大変感謝しております。そういう取組が重なって 2025 年の大阪・関西万博の開催にもつながったのかなという気がいたしますし、今後ますますミナミの活性化に繋がるものと思っております。

本日、私からは、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会を代表しまして、「安全安心で快適なまち」「魅力とにぎわいのあふれるまち」の 2 つの観点から、現状と問題提起を行い、積極的な意見交換を行いたいと思います。

はじめに、客引き問題については、南警察署による違法な客引きや風俗店の摘発、大阪府警察本部による捜査員を集中投入した客引き一斉取締り、「半グレ」と呼ばれる集団に対する取締りに加えて、少年少女を雇用したガールズバーの摘発等を行っていただきました。このように、大阪府警全体でミナミの治安維持と環境浄化に取り組んでいただいていることに、地元といたしましても大変心強く感じており、厚く感謝申し上げます。

大阪市におかれましても、平成 26 年に全国初となる客引き適正化条例を制定されて以降、指導員の方の手厚い巡回・指導に加えて、店舗への立入調査、悪質な店舗に対する店舗名と所在地などの公表を行っていただいております。また、昨年には、法善寺・道具屋筋一帯の禁止区域の拡大や、指導員の方の制服をより視認性の高い赤色へ一新されたほか、来訪者に対して客引きを利用しないよう呼び掛ける啓発動画を作成するなど工夫を凝らした取組をしていただき、本当にありがたく思っております。このような取組が功を奏して、客引きにつきましては、数年前と比べて減少していると感じております。

しかしながら、ミナミの街には依然として悪質・巧妙化した多数の客引きが横行しており、まだまだ厳しい状況であるものと認識しております。東京オリンピック・パラリンピックの開催、2025 年の大阪・関西万博の開催を見据えますと、大阪は日本の玄関口として、ますます国際都市としての役割が求められます。世界中の様々な人たちがミナミの街を訪れたとき、客引きが大きな顔をしてウロウロしているのはどうかと思いますし、大阪は現在世界から高い評価をいただいておりますが、客引きトラブルやぼったくりなどの発生により評判が落ちかねないと非常に危惧しております。

市の客引き適正化条例が施行されて、約 5 年が経過しましたが、ミナミに溢れか

える客引きの人数を考えますと、現在の指導員の権限や体制では客引きとのいたちごっこは否めない感があります。また、警察においても、風適法や迷惑防止条例などの既存法令で数多くの客引きを検挙していただいておりますが、深夜帯の客引きの絶対数の多さから見ますと散発的なものに止まっているという思いもあります。今後、指導員の更なる権限強化のための市条例改正や指導員の増員、また、一層厳格な取締りを行うための迷惑防止条例の改正などが必要な段階に入っているのではないのでしょうか。

ミナミの活性化を図るうえで、一番大事なことは、言うまでもなく多くの方々にミナミへ来ていただくことですが、それには安全・安心がしっかりと根付いていることが非常に重要だと考えています。地元といたしましても、これまで以上に警察、行政と連携を図りながら、夜間パトロールの継続や、違法風俗店をビルに入居させないための検討を重ね、さらには、大阪市の条例に従わず公表された悪質な店舗を広く周知するなど、まち全体として、違法な客引きを許さない気運づくりに取り組んでいますので、是非とも、ご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

放置自転車対策につきましては、大阪市が地元の要望を取り入れて、駐輪場附置条例の改正による規制緩和、撤去活動、歩道の植樹の隙間を工夫した駐輪場設置などを精力的に進めていただき、厚く感謝申し上げます。また、夜間帯にあふれる放置自転車につきましても、建設局で 18 時頃より撤去作業をしていただいているとお聞きしており、更なる夜間撤去につきましても地元としては大いに期待しているところです。地元といたしましても、ミナミで働く従業員や来訪者に対して駐輪マナーを啓発するなど、できる限りの取組を行ってまいりますので、今後も地元と緊密に連携を図りながら、駐輪場設置や効果的な撤去活動をお願いいたします。

大阪を訪れる外国人旅行者数は、平成 23 年は 158 万人であったのが、一昨年（平成 30 年）には 1,140 万人を数えるまでとなりました。その多くがミナミを訪れるなど、ミナミはまさに日本の玄関口となっており、昨今のインバウンド人気を牽引していると伺っています。また、本年の東京オリンピック・パラリンピック、2025 年の大阪・関西万博の開催により、ミナミの街は、ますます観光客の増加が見込まれます。

そういった観点からも、「なんば駅前の広場化」は観光インフラの整備として絶対にやり遂げなければならない取組だと思っておりますし、ミナミだけでなく、大阪・関西の活性化のためにも絶好の機会であると考えております。この取組は、基本計画（2017 年 3 月）が策定されてから約 3 年が経とうとしております。昨年、この代表者会議におきまして、市長から前向きな発言をいただいております、地元としても心強く感じているところです。現在、「なんば駅前の広場化」の実現に向けて都市計画局と建設局にも入っていただき、様々な協議を行っていただいているとお聞きしており、大いに期待しております。平成 30 年度には一方通行の道路を一本残

す案をもとに基本設計が進む中で、歩行者の安全を確保するための思い切った歩行者空間化の検討が求められ、協議会、行政のみなさんで一年がかりで現在も前向きな議論がなされていると聞いています。

御堂筋、駅前広場、なんさん通りと続く空間整備には解決すべき課題が多々あるかと思いますが、まずは地元と都市計画局、道路管理者である建設局で知恵を出し合い、そして交通管理者である警察と連携を密に取り合いながら、大阪が世界に誇れる広場となるようオール大阪で最適な方法を探り出していきたいと思います。ハード面整備後の運営につきましても、地域が主体になると思いますが、維持管理のための経費を持続的に生み出して事業収支を成り立たせるというこれまで経験のない「道」の事業であり多くの課題があることから、独り立ちするまでには時間も掛かります。また、財政的にどう発展させていくかという問題もあります。運営主体が自立できるまでの間、ぜひとも官民が連携する事業として大阪市、大阪府の継続的なご支援と、財界のご協力をお願いするとともに、交通管理者におかれましても、地元の思いをできるだけ汲んでいただき、地域活性化のために柔軟な対応をよろしくお願いいたします。

大阪のメインストリートである御堂筋の活性化につきましては、来年度から千日前通以北の東側側道の整備が始まる予定とお聞きしております。整備にあたっては、地元では協議会を組織され、建設局や大阪メトロと協議を重ね積極的な提案を行うとともに、空間活用の実験を積み重ねておられます。また、戎橋から太左衛門橋までのとんぼりリバーウォークは、完成以来 15 年目になりますが、官民一体となった取組や管理運営を委託されている南海電鉄の努力もあり、多くの観光客が水辺を歩き、川沿いへの店やイベントも増えました。観光客が大幅に増加し、歩行者が輻輳する状況の中、御堂筋の空間整備が進めば、なんさん通りからなんば駅前、御堂筋、さらには道頓堀川までの一帯における人中心の空間が生まれ、ミナミに歩きやすく安全で楽しい空間が構築されることによって、大阪全体の観光の振興に貢献できるものと思います。

世界基準で見ますと、歩行者優先、歩行者空間という視点にたって整備されているかどうか、その都市の価値を決めると言われています。「車優先ではなく人優先」、なんば駅前広場と御堂筋の歩行者空間、なんさん通りを含めた一体的な空間整備が大阪の価値を上げることは間違いありません。

ただ、実現するためには、地元の熱意だけでは困難であり、行政、関係機関のお力添えが必要です。行政におかれましては、より一層リーダーシップを取っていただき、事業化に向けての予算化や運用面での思い切った措置を、スピード感をもって取り組んでいただく必要があるのではないのでしょうか。また、関係機関におかれましては、それぞれでお持ちのノウハウをご提供していただき、前例にとらわれず、環境整備や支援、規制緩和といった積極的なご協力をお願いしたいと思います。安

全であり、かつ景観や活用面からもすぐれた歩行者空間を生み出す知恵が求められます。これまで以上に、お互いにビジョンを共有し、「なんば駅前広場」をはじめとした事業を、スピード感をもって取り組んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪府知事

ここミナミには非常に多くの方々を訪れていますが、そのような中で新型コロナウイルスが発生いたしまして、道頓堀に「頑張れ武漢」という垂れ幕がされている報道を聞いたところです。

少しだけ、大阪における新型コロナウイルスの状況と対応についてご説明させていただきます。新型コロナウイルスが発生してから、松井市長とも相談して、大阪府・大阪市で連携して対応をとっていこうと取組を進めています。新しいウイルスだということで、府民の皆さんの不安や相談も多いことから、専用相談窓口をつくりました。現在、その窓口寄せられた相談件数は、合計で2,200件くらいになっています。また、帰国者、接触者の相談窓口も府内各18の保健所につくりまして、その相談件数は合計で500件くらいになっています。感染の疑いがあるということで検査をした方は11人で、11人のうち1人が陽性で10人が陰性という状況です。

新型ウイルスに対応できる医療機関は多くありまして、外来受付では大阪府全域で約50の医療機関が対応し、入院機関は4の医療機関が対応できます。また、西日本で唯一、非常に高いレベルの指定感染症に対応できる病院が関空の向かいのりんくうにある病院です。大阪市と大阪府では、このようなウイルスが発生したときに対応する衛生研究所を府市一体で強化し、2年前に大阪安全基盤研究所を設置して検査体制も充実させ、万全の体制を整えているところです。

新型のウイルスは、どれだけ広がっていくかわからないという不安もありますが、皆さんには冷静に行動していただきたいという発信もいろいろなところで努めています。是非、手洗いについては、励行していただきたいと思ひます。感染予防対策として、中国から関西国際空港に來られる方に対して10万枚のマスクを航空機内や着陸時に配布することを進めています。江蘇州と友好都市である上海から支援要請がありましたので、医療用の防護服を最大で2万着、現在は1万着の支援をしようとしているところです。

中小企業支援として大阪市・大阪府で作る大阪産業局と各地の商工会議所を窓口とし、今回の新型コロナウイルスで、経済的に打撃を受けている中小企業や個人事業主の方をしっかりと支えていきたいと思ひます。お客さんが非常に減ったとか、中

国の取引先と今まで通りにいかず、新型コロナウイルスの影響で、ここ1か月で売上げが10%以上下がった中小企業、個人事業主の方を対象として、低金利で固定金利、据置期間もある緊急の制度融資、保証を開始します。

今回のウイルスの感染の拡大傾向を抑えて、大阪・関西そしてミナミの魅力の世界への発信を進めていき、国際都市として、さらに成長させていきたいと思えます。

昨年開催されましたG20大阪サミットにおきまして、本協議会の皆さんに非常にご協力をいただきました。サミット開催の協力や呼び掛けの広報、当日の交通の総量抑制規制などにご協力いただきまして、国をあげて成功することができました。大阪・関西の食、文化、魅力を会場のブースで世界のメディアに積極的に発信し、大阪・関西の魅力を世界に発信することができました。紹介された大阪の様々な食材や食が、1.5倍の売上げがあったと聞いています。大阪の食や文化、様々な魅力を世界に対して証明することができましたし、大阪府といたしましても、これから更に発信していきたいと思えます。

そして2025年には大阪関西万博が開催されます。約3,000万人の方が来場し、関西の経済波及効果は2兆円とも言われています。また、今年の6月には大阪で誘致を進めている統合型リゾート・IRのパートナー企業が決定する予定です。依存症対策など課題に対しては正面から取り組み、そしてプラスの面は積極的に引き出していきたいということで、誘致をしています。「うめきた」も2024年に開場予定ということで、成長の右肩上がりの曲線を途切れることがないように大阪の魅力を世界に発信していきたいと思えます。そのためにもミナミの存在は非常に重要になってきます。

先ほど会長からもありましたが、なんば駅前広場や御堂筋の歩行者空間の整備については、住民の皆さん、自治体、経済界が一体となって進めています。是非、この魅力の創造を成功させていきたいと思えます。僕自身もこの協議会に大阪市長の時代からずっと参加してきましたが、この取組には強い思い入れがあります。大阪府としても、ミナミの活性化が大阪全体の活性化に繋がると考えており、このビッグプロジェクトの成功に繋げていきたいと思えます。

また、治安について世界からの印象ですが、ミナミを訪れた多くの外国人旅行者の方が体感した治安情勢というものが、大阪の全体のイメージとして世界に伝わっていくと思えます。大阪が安全・安心なまちであるということの世界にPRするためにも、このミナミが安全で安心なまち、そして楽しく訪問できるまちであることが重要だと思っています。地元の皆さんには、その実現に向けて、大阪市・大阪府警と連携して、夜間パトロールや放置自転車対策、悪質な客引き対策などを積極的に継続して実施いただいているところです。また、府警においても、暴力団との繋がりが懸念される「半グレ」と呼ばれる、ぼったくりや恐喝するといった犯罪行為を繰り返す不良集団の取締りにも取り組んでいただいていると思いますが、引き続き、継続

的に厳しい取締りをお願いしたいと思います。

大阪府としても、青少年健全育成条例に基づき、条例の遵守状況の調査のため、ミナミ地区のインターネットカフェやカラオケボックスなど、夜間営業を行っている施設への立入調査を継続して実施をしています。青少年にとって優良な社会環境作りを進めることで、少年による犯罪行為の加担を防ぎ、ミナミの風俗環境の浄化を行っていききたいと思います。

これからも、世界の中で躍動して成長していく大阪ミナミを実現していきたいと思っています。そして安全・安心なまち、魅力のあるまち、この大阪ミナミの活性化について、皆さんと協力をしながら進めていききたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○ 大阪市長

吉村府知事から説明がありました新型コロナウイルスの件については、インバウンドが減っているということで、ご商売をされている方が非常に心配になられていると思います。ただ、このインバウンドを牽引してきたのが、まさに大阪です。

私が 2011 年に知事に就任した時は、大阪のインバウンドは年間約 160 万人でした。観光局の発表では、一昨年は 1,142 万人で、約 1,000 万人以上増えています。一昨年、台風が直撃した時にも、ミナミからお客さんがいなくなり、非常に心配をされたと思います。ただ、この大阪の魅力というのは昨日今日作られたものではありません。皆さん方が努力をされ、長年かけてそのような魅力を作り上げてこられました。2011 年、私が知事になり、橋下さんが市長になり、経済界の皆さんと観光局で大阪にインバウンドを呼び込むための装置をつくりました。徹底的に海外へプロモーションして、吉村知事も申し上げましたとおり、昨年は G20 で世界中に大阪の良さが伝わりました。ラグビーワールドカップでは欧米の皆さんも多数お越しになられました。

短期的には厳しい状況ではありますが、我々も各企業が継続できるように支援体制を整えていきますので、あまり過度に悲観的にならないでいただきたいと思っています。昨年 4 月に大阪府・市一体で支援窓口を大阪産業局につくりました。売上げがダウンして、やはり短期的に経営が苦しいという時は、どうぞご相談に行ってください。そういう方を支える市の支援制度は整えていっているところです。

この新型肺炎、インフルエンザは、気温の低い期間がある程度過ぎると緩和されていくと思います。日本は、医療の体制も充実していますし、衛生状態もいいです。今、観光局で集計している数字でも欧米からの旅行者も増えてきています。あまり悲観的にならず、前を向いた経営戦略を是非つくっていただきたいと思っています。

次に、「客引き行為等の適正化対策」について、平成 26 年の市条例の施行以降、平成 29 年からは、ミナミ地区を集中的に巡回・指導する指導員の増員、条例改正

による店舗や法人への対策強化を行い、昨年からは、法善寺・道具屋筋一帯を禁止区域に新たに指定するなど、厳正に対処してきております。こうした取組により、客引き行為は、条例施行前から一定減少してきてはおりますが、残念ながら、依頼された店舗や法人の名前を言わなかったり、客引き行為を何度も繰り返す事例がございます。

こうした悪質な客引き行為者に対しては、違反店舗を特定するための集中的な追跡調査や、悪質な客引き行為の多い箇所への指導員の集中配置を行い厳正に対処しております。今後とも、客引き行為の実態に即して巡回指導の運用を改善していくとともに、指導や取締りを強化するため、条例による規制のあり方を含め、幅広く検討してまいります。また、大阪府警察とのさらなる連携として、昨年8月と12月には合同パトロールを行い、違法な客引きに対しまして、ミナミでは300件あまりの指導等を行いました。大阪府警察のご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

客引き行為の適正化に向けましては、客引き行為への指導のほか、ミナミ全体として、客引き行為が禁止されているという気運の盛り上げや環境づくりを進めることも重要であると考えております。昨年3月にミナミを訪れる方々に、ミナミでは客引き行為が禁止されていることをわかっていただけるよう、指導員の制服を目立つ色、デザインに一新いたしました。さらに、地元事業者、南警察署などにご協力をいただき、街頭ビジョンで客引きを利用しないよう呼び掛ける動画の放映や、商店街での啓発ポスターなどの広報啓発も進めております。来訪者へのさらなる呼び掛けを積み重ねていくことが重要と考えております。ミナミの各所でビジョンやポスターなどを通じて、来訪者に客引きが禁止されていることを知っていただくことができるよう、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

悪質な客引き行為は絶対に許さないという強い決意のもと、皆様方と一層連携し、取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくをお願いいたします。

次に、「魅力とにぎわいのあふれるまちの実現」についてご説明いたします。

まず、なんば駅前の広場化でございます。なんば駅前を含むミナミエリアは、大阪の玄関口であり、このミナミの活性化が大阪ひいては関西の活性化につながるものです。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催、更には2025年の大阪・関西万博開催も決まり、ミナミはまさしく世界の玄関口となります。これまで、大阪商工会議所、府、市、地元が互いに連携し、「なんば駅前の広場化」の実現に向けた取組を進めてきており、現在、より歩行者の安全性に配慮するとともに、歩行者空間の充実につながる整備形態の実現に向けて、地元の皆様及び関係機関と検討を深めているところです。そして、万博に向けて大阪の新しい名所となるグレードの高い駅前広場として、人中心の空間に向けて再編を着実に進めていきたいと考えて

います。また、地域が主体となった持続可能な運営スキームを構築していただきたいと考えており、市も協力して、利活用のあり方や新たな仕組みを検討していきたいと考えているので、関係機関の方々におかれても、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

次に、御堂筋の活性化については、2018年7月に御堂筋完成80周年記念事業推進委員会として取りまとめた将来ビジョンに、地元地域や関係機関の皆さまと意見交換しながら事業を展開していくというプロセスを盛り込んだ、市としての将来ビジョンを昨年3月に策定しました。現在は、この将来ビジョンの実現に向けたファーストステップとして、千日前通から道頓堀川区間の側道を歩行者空間化していくこととしており、東側側道について、オリンピックが開催される今年7月に閉鎖し、来年1月頃の完成をめざします。その後、西側に切り替え、整備効果の検証などを繰り返しながら順次北側に展開していくこととしております。また、側道歩行者空間化により広がった歩行者空間の利活用につきましては、具体的な利活用の内容やその仕組み、必要な制度などに関し、地域の方々と意見交換してまいりたいと考えております。

放置自転車問題につきましては、私としても、重要な課題と認識しております。大阪市としても、1月下旬に夜間の連続撤去を試行しましたが、ミナミには、地域で働く従業員や来訪者の自転車が多く、放置自転車対策には地域のご協力が必要不可欠です。地元の皆様と、自転車利用者に対する指導・啓発活動を実施するとともに、大阪市としましても引き続き対策に取り組んでいきますので、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

このような取組を通じて、公民の連携を一層強め、なんば駅前の広場から御堂筋、さらに道頓堀川の水辺空間まで回遊できる、連続した、人中心の魅力ある空間を生み出すことができれば、ミナミエリアの魅力の向上や賑わいの創出に大いに寄与するものと考えています。皆様ご承知のとおり、ミナミが大阪の玄関口としてインバウンドの魅力を牽引しており、大阪府を訪れる外国人旅行者の訪問先第1位が心齋橋・難波となっております。観光が大阪の新たな基幹産業となるよう、しっかりとメッセージを発信するとともに、万博開催やI Rの誘致をはじめとした世界的な創造都市、世界最高水準のエンターテイメント都市の実現に向けた更なる取組に力を注ぐことなど、「大阪の成長」に向けてもしっかりと取り組んでまいります。

本市としまして、今後とも、様々な知恵を絞り工夫を凝らし、皆様方との連携をさらに深めながら、誰もが安心して訪れることができるこの「ええ街ミナミ」が一層すばらしいまちとなるよう取組を進めていきますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ 大阪府警察本部長

昨年大阪府警察の環境浄化の取組状況についてお話をさせていただきます。

府警では、ミナミ地区における取組として、風俗関係事犯の取締り、暴力団等の犯罪組織に対する諸対策、各種の交通対策等、歓楽街の治安の改善と風俗環境の浄化に向けた諸対策を推進して参りました。皆様のご協力もあり、協議会が設立された平成17年当時の刑法犯認知件数は約9,000件でしたが、昨年はおおよそ半減の約4,900件に至りましたし、特にひったくりについては、約1割にまで減少するなど、大きな成果をあげることができました。中でも、客引きにつきましては、ミナミ地区を訪れる多くの方々の体感治安を悪化させる要因の一つとなっており、検挙活動を中心に継続した取組を推進しております。

具体的に申し上げますと、違法な客引きに対する取締りを強化し、昨年中、南警察署で合計173人を検挙したほか、これら南警察署による取締りに加え、府下の捜査員をミナミ地区に投入した「客引き一斉取締り」を合計11回実施いたしました。また、8月と12月には「大阪市客引き適正化指導員」との合同パトロールを実施し、路上で客待ち等をする客引きに指導・警告を行うなど、客引きの排除に向けた取組を推進いたしました。さらには、客引きを行って警察に検挙されたり、大阪市の指導員から指導等を受ける大学生が依然として跡を絶たない状況にあることから、大阪市と協力して、大学に赴いて学校に啓発する活動にも取り組んできたところでもあります。

一方で、歓楽街に潜在化する各種事件の摘発にも努め、違法インターネットカジノ店や年少者を雇用したガールズバー、派遣型売春組織の摘発に加え、いわゆる「半グレ」と呼称される準暴力団等につきましても、集中的な取締りを行い、平成30年以降、ミナミ地区だけでもグループリーダーを含む約140人を検挙しました。また、違法風俗店を摘発した際には、店内の構造設備を解体・撤去させるスケルトン化を図ったり、ビルオーナーに対して再入居防止を働きかける取組を進めるなど、健全なまちの基盤作りにも取り組んでいるところであります。

次に、今後の取組方針について申し上げます。

最近では、特定の店舗に属することなく様々な店舗へ客を案内する「フリー」の客引きが多数みられ、規制にかからないような態様の客引きが増加しております。引き続き、府下の捜査員を投入した「客引き一斉取締り」を継続して行うなど、検挙活動を強化していくほか、客引きにより集客を図る店舗そのものにも焦点を当てた取締りについても進めていきたいと考えております。また、府民の皆様には大きな不安と脅威を与えている暴力団やいわゆる「半グレ」等と呼称される準暴力団等につきましても、府警の総力を挙げて、抗争の封圧、組織の弱体化に向け、あらゆる法令を駆使した取締りを推進するとともに、資金源となる違法風俗店等の徹底した取締りを進めて参りたいと考えております。

皆様には、客引き排除の気運をさらに高めていただきますとともに、商店会等の活動を通じて、例えば、取締りの後に出た空き店舗に優良なテナントが入居するようビルオーナー等に働きかけを行っていただき、まちの安全・安心のための取組を進めていただき、一層の連携をお願いできればと考えております。

2025年に開催が決定した大阪・関西万博などにより、またオリンピック・パラリンピックを控え、今後も、多くの方々がミナミのまちを訪れることが予想されます。府警では、ミナミ活性化協議会の一員として、これまで以上に歓楽街環境浄化活動を強化し、犯罪の抑止・検挙に努め、ミナミのまちを訪れる方々の安全・安心の確保に努めて参りたいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○ 大阪商工会議所副会頭

皆様からミナミにおける取組の状況をお伺いし、現在のミナミの賑わいは、一朝一夕にできたものではなく、皆様の日々の取組に支えられていることを改めて認識しているところです。15年前に、第1回のこの会議を開催した当時のミナミの状況を思い出しますと、今や国内外から多くの方をひきつけてやまない街へとミナミが変貌を遂げたことに感慨深いものがございます。皆様のご努力に心から敬意を表します。

大阪・関西万博開催まであと5年となりました。私ども大阪商工会議所では、大阪・関西万博をマイルストーンとして大阪の成長へどうつないでいくかが、極めて重要だと考えております。私どもでは、今年から新たな中期計画「たんと繁盛大阪アクションNEXT」をスタートし、具体的なプロジェクトに取り組んで参ります。そのうちの一つに、「都市魅力のさらなる向上プロジェクト」を掲げております。来場者数2,800万人といわれている大阪・関西万博に向けて、産業、観光、居住といったあらゆる面で、大阪の都市ブランド向上に向けた取組を行って参ります。

特にミナミは、インバウンドを迎える玄関口であり、これまで以上に、更なる魅力向上を進めていく必要があると考えております。こうした観点から、この中期計画では、ここミナミの中心繁華街の賑わいをさらに広げることによって、ミナミ一帯での交流人口の拡大を定住人口の拡大につなげ、持続的な産業振興、地域振興を目指す、グレーターミナミの取組も新たに盛り込んだところでございます。

その起爆剤の一つとして取り組むべき一丁目一番地が、なんば駅前の広場化の早期実現であります。2015年に、大阪商工会議所が「大阪の玄関口にふさわしい広場が必要である」と、提言を出させていただき、このプロジェクト実現に向けた取組が始まりました。その後、大阪商工会議所が事務局を務めた「なんば駅前広場空間利用検討会」が2017年3月に策定した「なんば駅前周辺道路空間の再編に係る基本計画」を受けて、現在、南海電鉄さんや高島屋さん、地元商店街の皆様が中心と

なり、広場を管理・運営する法人の設立に向け準備を進めていると伺っております。同時に、地元の関係者の皆様と大阪市さんとの間でも、実現に向けて調整を進めていただいていることと存じます。

こうした中、「広場化の早期実現」が急がれるところです。駅前広場化の実現は、インバウンドの聖地、ミナミの更なる魅力向上だけにとどまらず、国際観光都市大阪にふさわしい新たな顔を創出することを目指すものです。大阪市におかれましては、地元関係者の方々との密なコミュニケーションを図っていただくとともに、様々な部局が関わられるプロジェクトでもありますので、広場化の早期実現に向けて、松井市長の強力なリーダーシップを是非ともお願いします。また、広場化が実現した際は、公民連携による柔軟な広場の管理・運営が求められるところです。広場の運営体制については、今後議論が進められると思いますが、駅前広場の魅力を高め、来街者をおもてなししていくためには、様々なイベント等を展開できるよう、広場の柔軟な活用を行政に機動的に認めていただく必要がございます。引き続き地元と連携して、柔軟な広場の管理・運営に向けた体制整備をご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

ご承知のように、世界的に新型コロナウイルスによる影響が出てきており、大勢の訪日客が訪れるミナミも例外ではございません。しかし、ここミナミは民の力と知恵でこれまであらゆる困難を克服してきた街であります。これからは、国内・国外からの来街者で調和が取れて賑わうミナミを目指し、公民の結束をさらに固め連携して取り組みましょう。

○ 関西経済同友会代表幹事

ミナミの繁栄は、皆様の力の賜物だと敬意を表します。今年は東京で行われるオリンピック・パラリンピックの年で、来年は参加型のイベントでワールドマスタースゲームズ、2025年には大阪・関西万博があり、そしてIRも強く熱望されています。大変大きなチャンスが大阪、そしてミナミにあります。

ミナミは、大阪の文化などを楽しめる場所として最も人気があり、大阪の顔です。そういった中で東京と比較しがちなのですが、我々は東京と比較することをやめて、世界の中でどういう位置なのかを意識することが大事だと思っています。

関西経済同友会もそういうことを頭に置きながら、大阪の魅力と総力を高め、世界中の人をどうやって集めたらいいか、いろいろと勉強させていただいています。その中で、魅力を高めていくためには、文化力を高めることが一つの大きな力になるのではないかと考えています。大阪には深い文化的なものがありますので、いろいろなことができると思います。

関西経済同友会としても、できることからやっっていこうと思っており、「なにわの企業が集めた絵画の物語展」を開催しているところです。各企業が応接室や役員

室に飾っている岡本太郎さんなどの絵を集めてきて、府の施設をお借りして、合計44点を展示させていただいています。小さなことかもしれませんが、大阪は文化の盛んな都市だというふうにしていきたいと取り組んでいるということです。

観光も随分と話題になっていますが、ベンチャービジネスも大事です。観光で見ると、日本だと「大阪」のイメージがかなり確立していますが、ベンチャーの世界では、関西、「大阪」のイメージがまだ確立していません。そういった中で、なんとか「大阪」のイメージを確立して、世界中からいろいろな面白いビジネスを大阪に呼び込もうとしています。例えば、昨年11月には難波スタイルにベンチャー企業とそれを支援する人が300人くらい集まって、いろいろな枠を超えた大きなイベントが大阪で初めて行われました。大阪は「やってみなはれ、やってみなわからん、やってみてなんぼ」という文化だと思っていて、ベンチャーに向いていると思っています。そして、その先には万博がありますので、大変楽しみにしています。ベンチャーなら、あるいはビジネスなら「大阪」としていくことは、非常に大事な事だと感じております。

ただ、昨今の懸念材料として、話も出ましたが新型コロナウイルスです。これは日本の国としての総合力が求められていると思います。冷静にしっかり取り組んで一刻も早く皆様に安心していただける状態にしなければなりません。

最後に、皆様方と協力させていただきまして、そして大阪・ミナミが発展することを目指し努力していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○ ミナミ環境浄化推進協議会発起人

平素は、ミナミの歓楽街環境浄化、地域の活性化のために皆様には活発なるご活躍をいただきまして、心から感謝しているところでございます。

その中にありましても、客引きの問題については、大阪府警と大阪市が中心となって、様々な取組を行っていただき、数年前と比べてかなり改善していると感じています。昨年は、大阪市条例で、法善寺・道具屋筋一帯を禁止区域に拡大していただいたり、指導員の制服をわかりやすく威厳のある赤色に一新していただきました。アルバイト感覚で客引きに手を染める大学生が増えている問題に対しても、大阪府警と大阪府で直接大学に赴き、学生や教員に対して講話を行うなどしてもらっています。

また、昨年、「半グレ」と呼ばれる犯罪集団の実態がテレビで放映され、大変腹立たしさを感じましたが、大阪府警において、すぐに、リーダーを含む多数の半グレ集団を検挙していただきました。地元として、心強く感じているし、大変感謝しています。引き続き、取締りの強化をお願いします。地元も、各団体と連携して、夜間パトロールなどを継続的に行って、ミナミの街をもっと良くしていきたいと思っています。

ここで改めて、私から大阪市に要望があります。それは、「指導員の増員」と「指導員の権限の強化」です。指導員については、平成 26 年以降大幅に増員していただきましたが、最近では、10 人・15 人とたむろしている客引きたちに対して、指導員は 2、3 人で注意しなければなりません。客引きは、半グレ集団が関わっているという話もあり、指導員を威圧したり食ってかかることなど日常茶飯事で、現在の体制では多勢に無勢と感ずるところもあります。この現状を打開すべく、指導員を増やして、さらに権限を強化することによって、客引きに対する抑止力につなげ、安全で安心して訪れてもらえるミナミになってほしいと思います。

今や、ミナミは、世界的にも注目されて、多くの旅行者が訪れるようになりました。当然のことですが、多くの方に訪れてもらうためには、ミナミのまちが安心して訪問でき、安全に楽しむことができる必要があります。まだまだ課題は多いですが、今後も「みんなで作ろう ええ街ミナミ」を合言葉に、警察、行政、各団体と連携をしながら、頑張っていきたいと思います。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第 15 回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント等

代表者会議終了後、御堂筋において啓発イベントを行い、その後、大阪府警察音楽隊を先頭に御堂筋を心齋橋から道頓堀橋までパレードを実施した。

第15回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立から、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、大阪ミナミの環境浄化と美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるなど、誰もが安全で安心して楽しめるミナミの実現に向けて多くの対策を推進してきた。

その結果、今やミナミは、大阪だけでなく日本の玄関口として、国内外から多数の観光客が訪れる、まさに世界を惹きつける魅力あふれるまちとなっている。

これはミナミのまちづくりに携わる多くの人たちが、伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、魅力の創出・発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

2025年に開催が決定した大阪・関西万博などにより、世界中から注目が集まり、ますます多くの観光客の来訪が見込まれる中、ミナミをさらに世界に誇れる安全・安心で魅力あふれるまちへと発展させ、「ミナミに来てよかった」と誰もが思えるよう、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、次の2点を目標に掲げて、より一層取組を推進することとした。

一、 『安全・安心で、快適なまちの実現に向けて』

悪質・巧妙化する客引きの指導・取締りの強化に加えて、客引きを利用しないための来訪者への広報啓発などの対策や、繁華街における各種犯罪対策、放置自転車対策を推進するとともに、ビルの健全化に向けた対策を継続するなど、まちの環境浄化に根底から取り組み、安全・安心かつ快適に楽しめるまちづくりを推進する。

一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

人情味とおもてなしの心にあふれ、食や文化が融合するミナミの魅力を世界に発信し続けるとともに、ミナミの新たなシンボルとして、人中心の居心地良く安心感にあふれた「なんば駅前広場」「御堂筋の歩行者空間」を創出するため、地元・行政・経済界が一体となり、世界を惹きつける魅力とにぎわいあふれるまちづくりを推進する。

令和2年2月9日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事

大阪市長

大阪府警察本部長

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

大阪商工会議所会頭

一般社団法人関西経済同友会代表幹事

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク

公益社団法人関西経済連合会

公益財団法人大阪観光局

吉 村 洋 文

松 井 一 郎

藤 本 隆 史

岡 本 敏 嗣

福 長 徳 治

尾 崎 裕

池 田 博 之